

第4回弥生保育園三者協議会 主なご質問やご意見のまとめ

質問1 教育的指導カリキュラムのうち、海外交流プログラムについて、子どもたちにとっていきなり海外の方と交流というのは難しいと思います。職員の方から何か質問内容を事前に考えさせたりとか、しっかり親交を務めていただいて親交するプログラムなのかなと思いますが、どのような流れで進められるのかというのを具体的に教えてください。

【回答】 ワールドフレンズの件について、これは事前に交流する国を本社と決めます。そして、対象の国を決定し、日程を決定し、準備を始めます。子どもたちにいろいろな国があるということを話しながら、交流当日までの間にその国を知る活動をして、交流自体は1時間程度でオンラインでつなぎます、それまでの間にビデオレターの交換や、お互いの国を知る体験をします。子どもたちも対象の国のことを知って、聞きたいことや、やってみたいことを事前に考えます。そして相手の国の保育園からも聞いて、質問等を当日お互いに交換するという活動がワールドフレンズになります。

質問2 英語教室について、今約50施設で行っているということですが、新しい園では、このプログラムを実施予定なのかというところを教えてください。

【回答】 英語教室につきましては、弥生保育園については、現状はまだ確定ではありませんが、実施方向では検討しています。まだその中身の内容まで煮詰まっていないという現状もございます。今回民営化園ですので、現園からの継承という点から、子どもたちが環境に慣れてきた状況等を見て徐々に実施していければと考えております。

質問3 英語教室であるとか、にじいろワールドフレンズの詳細が決まってお知らせいただける時期というのは、いつ頃になりますか。

【回答】 ワールドフレンズに関しては、民営化園開園後に周知します。英語教室については、開園する前にある程度の方向性が示せるかと思います。

質問4 不適切保育について、会社として保育の調査や監査を実施する管理体制はどうされているかお聞かせください。

【回答】 不適切な保育を防ぐための管理体制について、まずは本社といたしまして、園ごとに担当のスーパーバイザーという者を配置しております。スーパーバイザーによる月に1回の巡回や、本社にて園長会として6回の研修と、あとはZoomをつないでの研修の計6回を実施して、注意喚起や園全体での周知というところを体制としております。また、昨年人権研修というものを全職員対象に実施しております。これらの研修を基に、どういう保育が不適切保育に当たってしまうのかという点を、本社として管理しております。